

# 16 ■夏鳥の歌声が響くブナ・カツラの天然林

## すがな 菅名岳 (五泉市)

■環境：山地  
 ■対象：一般  
 ■期間：5月中旬～8月下旬

五泉市と三川村の境界にある標高909.2mの山。カツラ・ブナの天然林が美しく、山頂からは蒲原平野が一望できる。またふもとは県の天然記念物に指定されたヒガンザクラの林がある。

### 〈小山田沢で鳥たちに出会う〉

小山田沢の駐車場に車を止めたら、すぐに歩き出さずしばらく耳を澄ましてみよう。ホオジロがさえずり、杉の木の先でオオルリが歌う姿が見えるかもしれない。運がよければ火の鳥アカシヨウビンが姿を現すこともある。

菅名岳(909.2m)に登るだけの時間(片道150分)のない人は沢沿いの林道を歩いても、かなりの数の鳥が見られる。

谷川の石の上でキセキレイが尾を振りながら餌を探し、カワガラスが川を上下する。砂防ダムにはオシドリやカ



登山道付近

ルガモがいるかもしれない。そして森の中ではクロツグミ、カケス、サンコウチョウなどの声が聞かれるはずである。

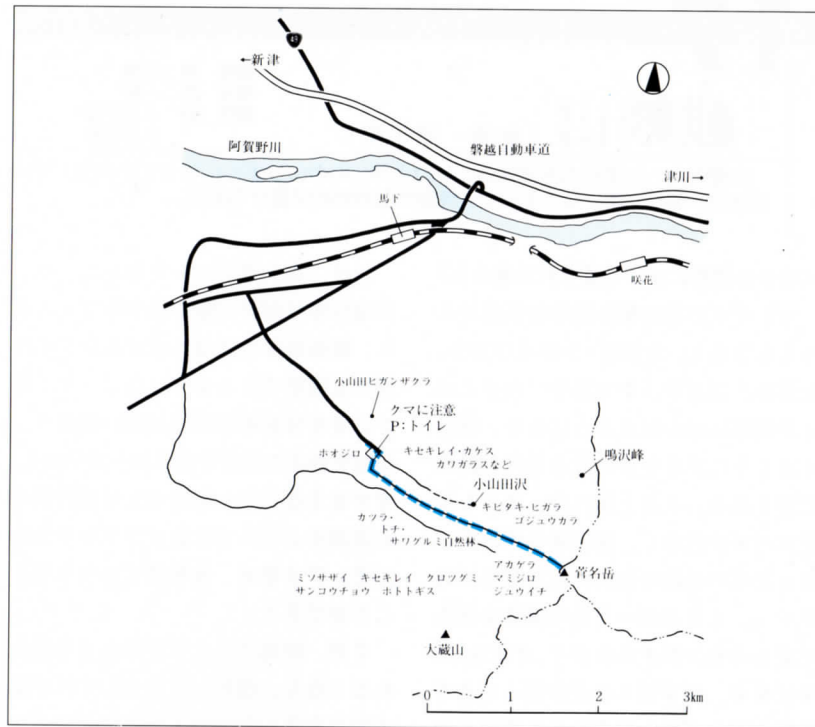
### 〈ブナ林を飛び交うカラ類やキツツキ〉

駐車場の少し上を右に曲がり丸太の橋を渡ると、ヤドリギのついた大きなエノキの木がある。ここから尾根に登る。急登となるが最近よく整備され、特別問題なく登ることができる。よくメジロが鳴きながら上空を通りすぎる場所である。

尾根までたどりついたなら、そこからは楽しく鳥を見ながら登山ができる。

山の半分くらい登ると、見事なブナの樹林が見られるようになり、キビタキがさえずり、ゴジュウカラやヒガラがブナ林の中を動きまわり、アカゲラも見られる。またマミジロの特徴のある声も聞くことができる。遠くの方からは、ジュウイチやホトトギスの声も聞こえる。

最近の調査で5月下旬にホシガラスとウソが観察されている。ブナ林は山頂まで続いているが、山の上の方ほど



木は小さくなり風衝樹林となる。

山頂からの眺めもなかなかのもので、飯豊連峰や東蒲原の山々などが美しく広がる。菅名岳が阿賀野川に近いせいか、以前山頂近くでミサゴを観察したこともあった。

なお菅名岳一帯は、クマの出没するところなので気をつけること。また低山帯の山といっても登山には、十分な装備と非常食、水などを持っていくこと。

(笠原喜一)

### メモ

**交通** JR 猿和田駅が馬下駅でタクシーを呼ぶ(約10~15分)もしくはJR 五泉駅前から保養センター行きバスで「小山田」下車、徒歩約30分、自家用車で登山口まで行くのがベスト。

☑ 登山口に駐車場がある(10台以上駐車可)。トイレは駐車場に簡易トイレが1台ある。

**探鳥会** 定期的なものはない。小山田のヒガンザクラは国指定の天然記念物。

新江川上流のカツラ、トチ、サワグルミの自然林は必見。帰りに咲花温泉に入るもよし。